
自販機

asaghi

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自販機

【Nコード】

N67060

【作者名】

asaghi

【あらすじ】

300文字で小説を書こう。
第8弾。

その自動販売機では、占いが出来る・・・？

現金を入れた後、迷う手間もかけずに、ボタンを押す。反応して点滅する。

がたん、ごとん、馴染みの音と共に、下の口から飲料の缶が出て来た。

此処までは、いつもの通り。

その後が問題。

缶の表面に、墨痕淋漓と、墨で大書された二文字。

“小吉”

プルリングを引き開けながら考える。

『其処の自動販売機では、占いが出来る。』

各種サービスの一種と、思っていたが、中身は普通に飲めた。

「それも、おみくじとはね。」

一回120円〜150円前後と言うのは、高いのか安いのか。それより、占い結果が書かれた缶をどうすれば良いのだった？

『ゴミの分別にご協力お願いします。』

辺りを見回してから、空缶専用のゴミ箱へ、ぽい。

やれやれ、小吉とはね。

* The End *

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6706o/>

自販機

2010年11月2日23時55分発行